

chatlog20230311

CULTIBASE: おはようございます！まもなく10時より開催となります。もう少々お待ちください。今日もどうぞよろしくお祈いします！
和美 野口: おはようございます！本日もよろしくお祈いします！
hiroaki ajisaka: おはようございます！！
知代 遠近: おはようございます！今日もどうぞよろしくお祈いします！
晋一郎 林: おはようございます！よろしくお祈いします。
夏川 真里奈: おはようございます！
貴信 貞國: おはようございます！初参加です。よろしくお祈いいたします。
和美 野口: ワークショップ型組織の考え方が、弊社内でも少しずつ広まりつつある気がしています。
hiroaki ajisaka: 最近は必要に応じて使いこなせるようになるのが理想なのかなと思います
Hayahiko Okugawa: おはようございます！よろしくお祈いします！
知代 遠近: ぜひ拡大バージョンで♪
hiroaki ajisaka: アイデア創出やイノベーションを実務と離れた位置にあるものと捉えられがちで「忙しくてそんな事をしている暇がない」と思われてしまうケースが多いかな...
和美 野口: 緊急性と重要性の四象限で考えたときに、どうしても後回しにされてしまいがち・・・
Daisuke Kobayashi: チーム間の対立
晋一郎 林: 人不足。あとは、アイデアを実現させるために社内を説得させるのに時間がかかる。
知代 遠近: 挑戦が、というより失敗が許されない組織
Hayahiko Okugawa: 既存事業で一杯一杯となり余白を作りづらいのはありそうですね...
伸明 高橋: 浅いアイデアしか出ないし深化しないで終わる
和美 野口: アイデアは出ても、具現化するチカラが弱い。
貴信 貞國: 3月ということもあり新年度に向けてこれまでのアイデアやイノベーションの連続性や継続性
hiroaki ajisaka: アイデア出した人がやらされがちで、みんな忙しいから黙っちゃう...
masaki nakamura: 個人レベルだと新規事業はハイリスクローリターン
katsuhide matsui: 発言者ごとで、「イノベーション」という言葉への期待度、捉えているイメージにGAPがあることが多い。。
聖也 高島: 創造力のメンバー間格差が課題です
inoue tomo: 既存事業事業の枠組みで新規事業が評価されてビジネスモデルが全然違うんだけどな〜と悩ましく感じたことがありました
浩幸 土屋: 良さげなアイデアも新規性が高すぎると通らない。結局はアンパイ・・・。
知代 遠近: 単年度予算は本当に足枷ですね。。
hiroaki ajisaka: 日々の苦悩が...w
和美 野口: 皆さん苦労されてますね。。
Hayahiko Okugawa: 変わりたいけど変わりたくない、というパラドックスですよ
小田裕和: 今日のポイントは、学習優位ですね！
小田裕和: 皆さんのパターンが気にアンリます
小田裕和: 気になりますw
inoue tomo: ありがちパターン耳が痛い。。
hiroaki ajisaka: あー現場深耕型だなー
和美 野口: 弊社はまさに現場深耕型ですね。。
hiroaki ajisaka: 顧客洞察なんて当たるはずないwww
inoue tomo: 対角線だけの議論で形にならなかったイメージかも
小田裕和: 右側はありのままの顧客像を探るイメージ、左側は新たな価値を探ろうとするイメージ ここを一緒にやっちゃってるケースも多いですよ
小田裕和: ①のところで、アウトサイドインのアプローチをとった上で、②でインサイドアウトのプロセスに入っていくイメージと捉えるとわかりやすそう
hiroaki ajisaka: 自社の理解って意外とできてないんだらうなー
和美 野口: 『学習優位の経営』、数年前に読んでました。すっかり忘れてしまっている・・・反省。
hiroaki ajisaka: しょうもないw
小田裕和: 名和先生、ちょいちょい手厳しくて楽しいです笑
hiroaki ajisaka: 一定のテンションで手厳しいのが面白いっす笑
hiroaki ajisaka: スケールさせずに成功する道は無かったんだらうか
小田裕和: 自社のDNAをしっかりと磨いた上で、AppleStoreというプラットフォーム型へと移行していったのが大事で、いきなりDNAもないのにプラットフォーム作るうとしてもうまくいかないですよ
Hayahiko Okugawa: 愛着の持てるプラットフォームというのがやっぱりAppleだよなぁとおもいます
Hayahiko Okugawa: 懐かしい事例ばかりだ
Hayahiko Okugawa: Appleはテクノロジーの民主化みたいなことをしてたんですね。後出しジャンケンの強みを活かしている。
hiroaki ajisaka: なるほど...
小田裕和: そういう意味では学習の姿勢がちゃんとありますよね
浩幸 土屋: Palmもご存知ですか
小田裕和: Palmってちっちゃいスマホのやつのことですかね...？
hiroaki ajisaka: やっぱり正しい理解が必要ってところに行きつくのか
小田裕和: 新規事業だと、静的DNAのことを全く無視してやったりしがちですよ... 一方で既存シーズから考えると動的DNAの部分が足りないというのもありがち

Hayahiko Okugawa: to beとto doってことかな
和美 野口: 自己否定できるか?って重要ですね。そこが難しい。
小田裕和: to be と to do わかりやすいですね
hiroaki ajisaka: これもパラドックスじゃないか...
小田裕和: to doの視点で咀嚼すると、動的DNAは、学習方略 (Learning Strategy)感がありますね
Hayahiko Okugawa: くだらない……
hiroaki ajisaka: 一番くだらない...w
小田裕和: ぜひ、聞いていてモヤモヤしたこともコメントしてくださいw (後でみんなで考えましょう!)
貴信 貞國: 0-1が一番くだらない
Hayahiko Okugawa: チャライものは絶対許さないw
小田裕和: くだらないと言い切るあたり、すごい名和先生の経験から見えている景色が潜んでいそうで面白いんですね、、、
hiroaki ajisaka: なるほどなー めっちゃ実践ベースのお話だな
Hayahiko Okugawa: スケールするところだけ掬い上げるんですね、なるほどなあ
小田裕和: PBRっていったのはこちらですね <a href="https://batonz.jp/learn/3072/">https://batonz.jp/learn/3072/</a>
inoue tomo: リクルートほとんど通らないと言いつつ、100件とかアイデア出てくるのも、それはそれですごいなと思ってしまいました
hiroaki ajisaka: 量も凄いです、ほぼほぼ通らない事を前提にアイデアを出し続ける胆力も凄いですね
歩 西村: けどリクルートほどのリソースがある企業の新規事業はそれだけ業界影響力とインパクトを生み出せるので夢があるんですね!
inoue tomo: そうなんです。アイデア出しても仕方ない、と学習性無気力みたいにならないのも凄いなと (なっている人もいるのかもですが)。確かに夢ある
hiroaki ajisaka: 企業規模によってかなり変わりそうだなーと思います
masaki nakamura: 左上でアイデアだし0-1をやりにいくとくだらない思い込みが出がち
浩幸 土屋: パラドックスですね。
hiroaki ajisaka: 経営層に覚悟を求めているってことですかね
Hayahiko Okugawa: あー、解像度を同じくらい高く持っていないと生み出せない、という感覚はイメージできます
伸明 高橋: インプットなく浅いアイデアばかりは現実です。考える余地がないため。
伸明 高橋: リクルートは事業部長が全員にフィードバックすると言っていました、
浩幸 土屋: 組織間の壁、役割分担もあったり
inoue tomo: 本気でリソース投入してどう形にしてビジネス成立するかまで考えるわけでもんね。問い続けているのだろうな
masaki nakamura: 自分たちの勝ちパターンとかDNA、スケールするかでジャッジするのは説得力があるけど、NPVとか財務の視点で判断されるとそれは違うだろうと思っちゃう。
和美 野口: メビウスモデルを回すためには、次こそは!と思えるフィードバックも必要ですね。
hiroaki ajisaka: なるほどなー。学習を前提とした批判がポイントになりそうだな
知代 遠近: ジャッジする側が学習の姿勢があったら、却下されても次のアイデアの磨き上げにつながる
知代 遠近: あー! 「そんなきれいごと」って先週言われました!!
hiroaki ajisaka: 「きれいごと」が何故実現できていないのかを考える事が必要なんじゃないかなと
hiroaki ajisaka: 小田さんの『批判的思考力を育む』のブックレビュー最高でした!
知代 遠近: うちの上司は生物多様性に全く関心が無いんですね。。だから、希少種保護を「草じゃん、そんなの守ったって。自己満足というか、きれいごとだね」って。。
田幡 祐斥: 「きれいごとだ」っていう分かりやすいフィードバックはしなくても、「パーパスとどう繋がってるか、意味づけられてるか」を思いついた本人以外が掴みあぐねて反応できない、みたいな空気が出る時はいっぱい目にします
inoue tomo: たしかに、企業が目指していること (パーパス) がトピックに無い中で、とにかく儲かるところを探せ!となっていたことも思い出しました。批判に対する批判。問いかけ方とか評価軸の目線を学習の姿勢に持っていくのすごく納得感
hiroaki ajisaka: 最近『興味関心を絶やさないための学習』って考え方がぼんやり見えてきている気がする
hikaru mizunami: (昔の動画覚えていてくれるの嬉しい・・!)
『批判的思考力を育む』 (前編) <a href="https://www.cultibase.jp/videos/10785">https://www.cultibase.jp/videos/10785</a>
『批判的思考力を育む』 (後編) <a href="https://www.cultibase.jp/videos/10784">https://www.cultibase.jp/videos/10784</a>
知代 遠近: コストと価値! それ、本当に今、担当業務(自然保護担当課)で悩むところです
Hayahiko Okugawa: パーパスを起点とした学習、ちゃんと考えている組織はどれだけあるんだろう……
田幡 祐斥: 「新しさ」は「わからなさ」と表裏一体なんだけど、わからなさがまず先に負の感情を生んでしまうと、「学習」っていう前向きな姿勢を作れなくなる印象
Hayahiko Okugawa: わからないけど、わかるうとする姿勢は大事だと思います
田幡 祐斥: マイケル・ポーターの間近にいて「なんか違うな」を持ち続けられるのすごい
hiroaki ajisaka: 「わからなさ」と向き合うのってパワーがいりますもんね。そういう意味では「わからなくてもいいから把握する」みたいな姿勢が必要なのかな
Hayahiko Okugawa: いけてない、ってなかなか言えないですねw
Hayahiko Okugawa: 一旦受け取る姿勢は必要なんでしょうね>ajisakaさん
小田裕和: 名和先生、フロントで無茶苦茶戦ってきた方なんだなあってこの辺りの話聞いているとすごく感じます…
hiroaki ajisaka: 戦コンの限界ってやつなのか…
hiroaki ajisaka: あー辛辣な予感…

小田裕和: 何とかして、競争優位の世界に対する違和感と、日本の元々持っていた大事なDNAの重要性を、しっかりと売上という結果を示す形で世界に示せないか、っていう姿勢が名和先生にあるよなというふうに感じています。 相当悔しい思いもしてきたんだろうなあと
伸明 高橋: パズワードによる思考停止は感じます
Hayahiko Okugawa: まさに実体験から来る言葉、という印象です
hiroaki ajisaka: なるほど...オペレーションに流れたってのはじっくりくるな
hiroaki ajisaka: 小田さん仰る通り、悔しい思いを相当されたんでしょうね...
Hayahiko Okugawa: マネタイズとスケールがイノベーションに必須という認識、めちゃくちゃ大事ですね
hiroaki ajisaka: インベンションがイノベーションに繋がっていない。なるほどなー
masaki nakamura: 2流X2流は4流。。。
小田裕和: さっきの両利きの探索の捉え方の違いに、いけないという言葉のヒントがありそうですね
小田裕和: 手厳しいw
hiroaki ajisaka: 自律には規律が必要！
Hayahiko Okugawa: 心理的安全性にも規律が必要、というのは耳が痛くなりますね
小田裕和: 心理的安全性の背後には、心理的柔軟性という概念がありますが、柔軟性を高めるって無茶苦茶ちゃんとやらないとうまくいかないんですよね…
hiroaki ajisaka: 秩序無き自由は危険ってやつか
和美 野口: 耳が痛いですが、納得感しかないです笑
伸明 高橋: 本質
小田裕和: ジョブ型の良いところもあるとは思いますが、学習の姿勢なきジョブ型はダメっていう話ですよ
hiroaki ajisaka: リスキリングは姿勢であって何か特定のモノを学ぶものではないって事かな
小田裕和: イベント前にあまり意識してなかったけど、やっぱり学習方略のメタ学習の重要性を動的DNAっていうところで定義している気がしますね
Hayahiko Okugawa: 資格取ればいいわけじゃない、的なことですかねw
hiroaki ajisaka: メタ学習って概念はもっと深掘ってみたいなー
Hayahiko Okugawa: 学習の観点でどういうto beを持つのか、かなり大事な気がします
Hayahiko Okugawa: リベラルアーツ！
小田裕和: to be と to doの学習を深めるという姿勢大事そうですね
和美 野口: 名和先生のお話を聞いていると、背筋が伸びますね。
hiroaki ajisaka: ここで哲学が出てくるかー。まさにto be
masaki nakamura: 考えるアルゴリズムをインストールするには哲学
晋 長野: 考えるアルゴリズム！
hikaru mizunami: 構成主義ってなに？：ファシリテーターの学習観（前編） <a href="https://www.cultibase.jp/articles/11340">https://www.cultibase.jp/articles/11340</a>
hiroaki ajisaka: 現在携わってる実務に対して「学習」という視点を持って臨むだけで色々変わりそう
浩幸 土屋: 価値の格という表現はいいですね！
知代 遠近: 価値の格！ メル〇リの転売ヤーに無いもの。。
和美 野口: アーカイブで何度も聴きたい回ですね。
知代 遠近: 本を読んでからアーカイブを観たい回👉👈
知代 遠近: チーム・リフレクション、楽しみ♪
CULTIBASE: ▼ラーニングパスの詳細はこちら <a href="https://www.cultibase.jp/news/13502">https://www.cultibase.jp/news/13502</a>
hiroaki ajisaka: ラーニングパス面白いです！！
晋 長野: ラーニングパス見てみます！！
CULTIBASE: ▼CULTIBASE Schoolはこちら <a href="https://school.cultibase.jp/">https://school.cultibase.jp/</a>
CULTIBASE: ▼本日のリフレクションシートはこちら <a href="https://forms.gle/4KHoDnN7e4Mee4cJ9">https://forms.gle/4KHoDnN7e4Mee4cJ9</a>
和美 野口: お疲れさまでした！
浩幸 土屋: お疲れ様でした。今日も楽しかったです！
知代 遠近: ありがとうございました！
晋一郎 林: ありがとうございました！
Hayahiko Okugawa: 楽しかったです！ありがとうございました！
和美 野口: ありがとうございました！
CULTIBASE: 本日もありがとうございました！！
hiroaki ajisaka: お疲れさまでした！
貴信 貞國: ありがとうございました！